

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2008年11月19日から2018年12月20日までです。
運用方針	投資対象とする外国投資証券を通じて、中長期的に信託財産の成長を目指して、積極的な運用を行います。 当ファンドおよび投資対象とする外国投資証券は、原則として為替ヘッジは行いません。
主要運用対象	外国投資証券 「アバディーン・グローバル・ブラジル・ボンド・ファンド」（ルクセンブルグ籍／円建て）主として、ブラジルの債券等に投資します。 ※当該ファンドは、ファンド・オブ・ファンズにのみ取得されることを目的とします。
組入制限	①債券への直接投資は、行いません。 ②投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 ③同一銘柄の投資信託証券（ファンド・オブ・ファンズにのみ取得されることを目的とする投資信託証券は除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の50%以下とします。 ④外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時（原則として6月、12月の各20日。休業日の場合は翌営業日。）に、原則として以下の方針に基づいて分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、上記①の範囲内で委託者が決定するものとし、原則として配当等収益等を中心に安定分配を行うことを基本とします。ただし、分配対象金額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。 ③留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

* 当期の分配金

1 万口当たり分配金	200円
------------	------

（詳しくは、当期の分配金のお知らせをお読み下さい。）



ブラジル国債リアル債・ファンド （年2回決算型） （愛称：ブラジル・ドリーム）

運用報告書（全体版）

第13期

決算日：2014年12月22日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「ブラジル国債リアル債・ファンド（年2回決算型）」（愛称：ブラジル・ドリーム）は、2014年12月22日に第13期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

アバディーン投信投資顧問株式会社

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-3 虎ノ門清和ビル
お問い合わせ窓口 03-4578-2251

（受付時間は営業日の午前9時から午後5時までです。）
インターネット・ホームページ <http://www.aberdean-asset.co.jp>

◎基準価額の推移と運用実績（2014年6月21日から2014年12月22日まで）

設定以来の基準価額の推移

（単位：円）



（注）当ファンドはベンチマークを設定しておらず、且つ運用方針に対し適切な参考指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は掲載しておりません。

分配実績

決算日	分配金	決算日	分配金	決算日	分配金
1期 (2008年12月22日)	0円	6期 (2011年6月20日)	1,000円	11期 (2013年12月20日)	200円
2期 (2009年6月22日)	100円	7期 (2011年12月20日)	1,000円	12期 (2014年6月20日)	200円
3期 (2009年12月21日)	1,000円	8期 (2012年6月20日)	200円	13期 (2014年12月22日)	200円
4期 (2010年6月21日)	1,000円	9期 (2012年12月20日)	200円		
5期 (2010年12月20日)	1,000円	10期 (2013年6月20日)	200円		
累計					6,300円

期	前期末	期中高値	期中安値	当期末
第13期	2014/6/20 8,784	2014/11/28 9,294	2014/10/28 8,351	2014/12/22 8,902

（注）期末基準価額は、分配金（税引前）込み。

<基準価額の変動>

当ファンドは第13期の決算を迎え、基準価額は前期末の8,784円から当期末には分配金200円込みで8,902円、値上がり額は118円となりました。当期の基準価額の騰落率は1.3%の上昇となりました。なお、当ファンドにはベンチマークを設けておりませんので、ベンチマークとの比較はありません。

<変動要因>

（主なプラス要因）

ブラジルの国債を主要投資対象とし、他国に比べて高い利息を定期的に受け取ることで基準価額は上昇しました。

（主なマイナス要因）

金融政策決定会合において、インフレや通貨安懸念から政策金利が再び引き上げられたことで、ブラジル債券市場は下落しました。

【投資環境】

2014年6月のブラジル債券市場は、月初に世界的な金利上昇傾向を受けて利回りが上昇して始まりましたが、その後国内経済見通しの悪化や欧州中央銀行（ECB）の追加緩和、低調な経済活動指数を受けて、低下しました。中盤に世界的なリスク回避傾向から利回りが上昇する場面がありましたが、新規就業者数などの低調な経済指標から再度低下基調となり、最終的にブラジル中期債利回りは前月末から低下（債券価格は上昇）して月末を迎えました。

6月6日に発表された5月のブラジルの代表的なインフレ率指数である拡大消費者物価指数（IPCA）は、前年同月比+6.37%と4月の同+6.28%から上昇し、引き続き中央銀行のインフレ目標値上限付近で推移しました。一方、6月26日に中央銀行が公表した四半期インフレ報告では、今後1年間の物価上昇率を+5.1%と見込み、今後数四半期は強いインフレ圧力が緩和するとの見方を示しました。同報告での1-3月期の基礎的財政収支（プライマリーバランス）はGDP対比+1.9%の黒字で政府の年間目標と一致し、2014年のGDP成長率見通しは+1.6%で前回予想の+2.0%から下方修正となりました。

ブラジル・リアル相場は、対米ドル、対円共に上昇しました。月初、幅広い通貨に対する米ドル高傾向により下落して始まりましたが、その後は欧州中央銀行（ECB）の追加緩和を受けた新興国通貨高やレアル買い介入プログラムの延長発表などから上昇しました。中盤に入るとウクライナやイラク情勢の緊迫化を受けたリスク回避の動きによりレアルは両通貨に対して下落しましたが、その後は、米国の成長見通しの悪化による米ドル安傾向や、ブラジル中央銀行がレアル買い介入プログラムを現状規模で12月まで延長すると発表したことなどが好感され堅調な推移となり、最終的には前月末比でレアル高となる1レアル=45円台後半で月末を迎えました。

7月のブラジル債券市場は、初旬、鉱工業生産や景況感指数等の経済指標の低迷を受け利回りは低下基調で推移しました。中旬に入っても、金融政策決定会合を控え、中銀が将来の金融緩和の可能性を示唆するとの期待感やルセフ大統領の支持率低下が好感されたことから利回りはさらに低下しました。一方、下旬に入ると中銀が将来の利下げを考慮していないことが示唆されたことやアルゼンチンの債務問題で市場のリスク回避傾向が高まったことから利回りは上昇しました。最終的にブラジル中期債利回りは前月末から低下（債券価格は上昇）して月末を迎えました。

7月8日に発表された6月のIPCAは、前年同月比+6.52%と、前月の+6.37%及び市場予想の+6.51%を上回りました。上昇率がインフレターゲット上限（6.5%）を上回ったのは約1年ぶりです。この上昇には主にワールドカップ関連である航空運賃やホテル宿泊料の上昇が寄与していますが、食料品価格は市場予想以上に下落しました。ブラジル中央銀行は、16日まで開いた金融政策決定会合で、政策金利である基準金利を年11.0%に据え置くことを決定しました。中銀は2013年4月から2014年4月の9回連続で合計3.75%の利上げを実施していましたが、前回5月の会合より基準金利を据え置きました。

ブラジル・リアル相場は、対米ドル、対円共に下落しました。月前半は米国の雇用統計が予想を上回ったことを受けた米ドル高や、ポルトガル大手銀行の信用不安問題からリスク回避傾向となったことを背景にレアルは下落基調となりました。中旬は、ウクライナ情勢への懸念からリスク回避傾向が高まり下落する局面がありましたが、その後はルセフ大統領への支持率低下により上昇しました。月末付近では好調な米国経済指標を受けた米ドル高傾向やアルゼンチンの債務問題からリスク回避の動きが強まったことを背景に再度下落基調となり、最終的には前月末比で小幅にレアル安となる1レアル=45円台前半で月末を迎えました。

8月のブラジル債券市場は、初旬、地政学リスクの高まりや利下げを検討していないとのブラジル中銀の発言を受け、利回りは上昇しました。しかしその後は、大統領選への出馬を表明していた野党・ブラジル社会党（PSB）のカンボス氏の死去により、同氏の副大統領候補であったシルバ氏が後継候補になるとの観測や、実際にシルバ氏が大統領選への出馬を正式表明したことでルセフ大統領の再選可能性が低下したこと等を受けて、利回りは低下基調で推移しました。最終的にブラジル中期債利回りは前月末から低下（債券価格は上昇）して月末を迎えました。

8月8日に発表された7月のIPCAは、前年同月比+6.50%と、前月の+6.52%を小幅に下回りました。ワールドカップの終了により、関連する航空運賃やホテル宿泊料が下落したことや、食料品価格の下落がインフレ率の低下に寄与しました。ブラジル地理統計院（IBGE）が8月29日に発表した4~6月のGDPは前期比▲0.6%と、市場予想の▲0.4%よりも大きな落ち込みとなりました。マイナス成長が2四半期連続となったのはリーマン・ショック後の2008年後半以降、約5年ぶりです。マイナス成長の背景にはワールドカップでのブラジル代表試合時の休日などに伴う影響や、大統領選を控えた様子見姿勢による投資の減少が挙げられます。一方、前四半期に減少した個人消費や輸出は増加に転じました。

ブラジル・リアル相場は、対米ドル、対円共に上昇しました。初旬、ロシアが経済制裁に対する対抗措置を検討しているとの報道などを受けて地政学リスクが高まり、レアルは下落基調となりました。一方、中旬にかけては、中銀のレアル買い介入プログラムの強化や大統領選挙における政権交代の可能性が高まったことなどを背景に上昇基調に転じました。その後、FOMC（米国連邦公開市場委員会）議事録を受けた米ドル高により下落する局面がありましたが、月末付近では、政権交代への期待の高まりを受けて上昇基調となり、最終的には前月末比でレアル高となる1レアル=46円台半ばで月末を迎えました。

9月のブラジル債券市場は、米国の早期利上げ観測を受けて、世界的に金利が上昇したことや、新興国資産への売り圧力が強まったこと、世論調査でルセフ大統領の支持率が拡大し、政権交代への期待が後退したこと等を背景に、利回りは上昇基調で推移しました。最終的にブラジル中期債利回りは前月末から上昇（債券価格は下落）して月末を迎えました。

ブラジル中央銀行は、3日まで開いた金融政策決定会合で、政策金利である基準金利を年11.0%に据え置くことを決定し

ました。9月5日に発表された8月のI P C Aは、前年同月比+6.51%と、前月の+6.50%を小幅に上回りました。食料品価格は前月から引き続き、着地を見せかけているものの、7月に大幅に値下がりした航空運賃が大きく上昇したことや、新学期が始まり教育費が上昇したことがインフレ率の上昇に影響しました。9月9日、格付け会社ムーディーズ・インバスターズ・サービスは、ブラジルの信用格付け見通しを「安定的」から「ネガティブ」に引き下げました。自国通貨建てと外貨建ての格付けは共に「B a a 2」のまま据え置きました。

ブラジル・リアル相場は、対米ドル、対円共に下落しました。前半はルセフ大統領への支持が拡大しているとの世論調査の結果を受けて、政権交代への期待が薄れたことを背景にリアルは下落基調となりました。中盤はF O M C（米国連邦公開市場委員会）で金利予測が引き上げられたことからリアルは対米ドルで下落しました。一方、対米ドルで円安が進んだため、中盤にリアルは対円で上昇しました。その後、ブラジル中銀が為替介入姿勢を強めたことから両通貨に対してリアル高に振れる局面もありましたが、中国の景気先行き懸念や、ロシアの報復制裁を受けたリスク回避の動きから下落し、最終的には前月末比で円高リアル安となる1リアル=44円台後半で月末を迎えました。

10月のブラジル債券市場は、初旬、大統領選第1回投票で、市場寄りで見られていたネーベス氏が予想外に躍進したことで政権交代への期待が高まり、利回りは低下しました。しかしその後は、世界経済の減速懸念を受けたリスク回避の動きや、世論調査でルセフ大統領再選の可能性が高まったこと等を背景に利回りは上昇基調で推移しました。決選投票前後では利回り低下の場面があったものの、月末付近ではブラジル中銀の予想外の利上げを受けて利回りは上昇し、最終的にブラジル中期債利回りは前月末から上昇（債券価格は下落）して月末を迎えました。

ブラジル中央銀行は、29日まで開いた金融政策決定会合で、政策金利である基準金利を0.25%引き上げ、年11.25%にすると決定しました。中銀は5月以降、3会連続で基準金利を据え置いており、この利上げは市場にとっては予想外で4会合ぶりとなります。10月8日に発表された9月のI P C Aは、前年同月比+6.75%と、前月の+6.51%を上回りました。主に干ばつによる食料品価格の上昇が影響したことで、中銀は声明文において“前回の会合以降、インフレリスクが高まった”としており、インフレ率が4カ月連続でインフレターゲット上限（6.5%）を上回る中、インフレに対する警戒感を示しました。

ブラジル・リアル相場は、対米ドルで下落し、対円で上昇しました。前半は大統領選第1回投票でのネーベス氏の躍進や、決選投票の世論調査を受けて政権交代への期待が高まったことを背景に、対米ドル、対円共にリアルは上昇基調で推移しました。中盤以降は、世論調査の結果が接戦で政権交代の可能性が低下したことや、欧米の景気後退懸念が台頭したこと、決選投票でルセフ大統領が再選したこと等を受けて下落しました。しかし、その後はルセフ大統領の新政策及び閣僚人事への期待感や予想外のブラジル中銀の利上げによりリアルは両通貨に対して上昇しました。月末にはブラジルの財政赤字拡大を受けてリアルは対ドルで下落しましたが、日銀の追加緩和発表により対米ドルで円安が進んだため、最終的には前月末比で円安リアル高となる1リアル=45円台半ばで月末を迎えました。

11月のブラジル債券市場は、月前半、リアル安が進んだことや先月末の予想外のブラジル中央銀行の利上げを受けて利回りは上昇基調で推移しました。一方、後半はE C Bの追加緩和への期待感や、ルーラ前大統領の下で財務局長を務めた経験があり、市場寄りで見られるレビ氏が次期財務相に指名されるとの観測を受けて利回りは低下しました。最終的にブラジル中期債利回りは前月末からほぼ横ばいで月末を迎えました。

11月7日に発表された10月のI P C Aは、前年同月比+6.59%と、前月の+6.75%及び市場予想をやや下回りました。前月に上昇幅の大きかった食料品価格や航空運賃の上昇率が鈍化したことが主な要因です。一方、ブラジル中央銀行が24日に発表した調査によると、2014年のインフレ見通しは前週予想の前年比+6.40%から+6.43%へ悪化、2015年も前週予想の前年比+6.40%から+6.45%へ悪化し、今後も引き続きインフレ率はインフレターゲット上限（6.5%）付近で高止まりする見込みです。

ブラジル・リアル相場は、対米ドルで下落し、対円で上昇しました。前半は幅広い通貨に対する米ドル高傾向や閣僚人事に対する不透明感が広がり、対米ドル、対円共にリアルは下落基調で推移しました。一方、中盤以降はルーラ前大統領の下で財務局長を務めていたレビ氏が次期財務相に指名されるとの観測が好感され上昇基調に転じましたが、月末にかけては原油安が一段と進んだことを背景に米ドル高傾向となり、リアルは両通貨に対して下落しました。対米ドルでは、月後半の上昇幅に対して月前半の下落幅が大きく前月末比米ドル高リアル安で月末を迎えましたが、対円では米ドルに対して円安が進んだため、最終的には前月末比で円安リアル高となる1リアル=46円台前半で月末を迎えました。

【運用経過】

当ファンドは、主な投資対象とする「アパディーン・グローバル・ブラジル・ボンド・ファンド」を高位に組み入れて運用を行っています。2014年6月にはショッピングセンター運営会社の社債が償還され、9月には2015年7月満期の固定金利割引債を新規に組入れました。また、10月には固定金利割引債が償還され、残存年数が半年強の固定金利割引債の買い増しを行いました。

債券種別配分の推移（月末ベース）

	2014年5月末	6月末	7月末	8月末	9月末	10月末	11月末
インフレ連動債（NTNB）	40.2%	41.9%	42.5%	43.7%	43.2%	45.5%	42.1%
固定金利割引債（LTN）	27.1%	28.1%	40.9%	39.4%	39.4%	35.3%	35.4%
固定金利利付債（NTNF）	23.6%	24.5%	12.5%	13.0%	13.2%	13.6%	17.2%
社債	5.3%	4.3%	3.9%	3.9%	4.1%	4.2%	4.1%
現預金	3.8%	1.3%	0.3%	0.2%	0.1%	1.4%	1.2%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

（注）上記は、当ファンドの主な投資対象であるアバディーン・グローバル・ブラジル・ボンド・ファンドについて記載しています。

ファンド特性の推移（月末ベース）

	2014年5月末	6月末	7月末	8月末	9月末	10月末	11月末
デュレーション（年）	1.7	1.7	1.6	1.5	1.5	1.6	1.6
平均最終利回り（%）	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.3	12.3
平均格付け	BBB+	BBB+	BBB+	BBB+	BBB+	BBB+	BBB+

（注）上記は、当ファンドの主な投資対象であるアバディーン・グローバル・ブラジル・ボンド・ファンドについて記載しています。

組入状況の推移（月末ベース）

	2014年5月末	6月末	7月末	8月末	9月末	10月末	11月末
アバディーン・グローバル・ブラジル・ボンド・ファンド	96.5%	97.9%	95.5%	95.8%	97.5%	95.8%	96.0%
アバディーン・リクイディティ・ファンド（ルクス）米ドル	0.8%	0.9%	1.0%	1.0%	1.2%	1.2%	1.2%
現預金	2.7%	1.3%	3.5%	3.2%	1.3%	3.1%	2.8%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【収益分配金】

基準価額の水準等を勘案し、第13期末に1万口当たり200円（税引前）の収益金を支払いました。なお、収益分配に充てなかった利益は信託財産に留保し、留保金の運用については、特に制限を設けず元本部分と同一の運用を行います。

【今後の市場見通しと投資戦略】

当ファンドは引き続き「アバディーン・グローバル・ブラジル・ボンド・ファンド」への投資比率を高位に保ち、流動性の高いリアル建て国債を中心とするポートフォリオを継続する予定です。ブラジルの政策金利の変更や債券市場の利回り推移を注視しながら最良の投資機会を追求する方針です。

10月のインフレ率は前月及び市場予想をやや下回る水準となったものの、11月初旬にブラジル政府が約1年ぶりに国内燃料卸売価格の値上げを許可したことや食料品価格が上昇していることを受け、11月のインフレ率もインフレターゲット上限（6.5%）付近で高止まることが予想されます。また、ブラジル中銀が12月初旬の金融決定会合で10月下旬に引き続き利上げを実施し、インフレ抑制への強い姿勢を示したことを受け、短期的には中期金利に上昇圧力が強まる可能性があります。一方、2015年以降に関してはブラジル中銀が利上げに慎重な姿勢を示しており、国内景気の低迷も意識されることから、ブラジル中期金利は安定的な推移を見込みます。

（上記の見通しと戦略は、2014年12月22日時点のものです。）

当報告書はアバディーン投信投資顧問株式会社独自の分析に基づき作成したものです。信頼できる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性が保証されるものではありません。当資料で示した見通しおよび分析結果等については、予告なく変更する場合があります。また、当資料中の過去の収益率等は、将来の投資成果を保証するものではありません。

◎最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 込 分 配 金		期 騰 落 率	投 資 証 券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配 金			
	円		円	%	%	百万円
9期 (2012年12月20日)	7,776		200	8.7	98.7	161
10期 (2013年6月20日)	8,209		200	8.1	98.6	157
11期 (2013年12月20日)	8,298		200	3.5	98.5	150
12期 (2014年6月20日)	8,784		200	8.3	98.2	138
13期 (2014年12月22日)	8,702		200	1.3	98.4	104

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 純資産の単位未満は切捨て。騰落率及び各比率は小数第2位以下で四捨五入。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設定しておらず、且つ運用方針に対し適切な参考指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は掲載していません。

◎当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	投 資 証 券 率
2014年6月20日	8,784	—	98.2
6月末	8,878	1.1	98.7
7月末	8,876	1.0	96.5
8月末	8,998	2.4	96.8
9月末	8,726	△0.7	98.7
10月末	8,879	1.1	96.9
11月末	9,294	5.8	97.2
(期 末)			
2014年12月22日	8,902	1.3	98.4

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 騰落率は小数第2位以下で四捨五入。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設定しておらず、且つ運用方針に対し適切な参考指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は掲載していません。

◎ 1 万口（元本10,000円）当たりの費用の明細

項目	第13期 (2014年6月21日～2014年12月22日)		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	54円	0.602%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は8,941円
（委託会社）	(17)	(0.187)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(35)	(0.388)	情報提供、各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（受託会社）	(2)	(0.027)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	5円	0.056%	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(5)	(0.056)	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
合計	59円	0.658%	

(注1) 費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注3) 項目毎に円未満は四捨五入し、単位未満は0円と表示しています。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資証券が支払った費用を含みません。

◎ 売買及び取引の状況（2014年6月21日から2014年12月22日まで）

投資証券

		口	数	買付額	口	数	売付額
		千口		千円	千口		千円
外国	ルクセンブルグ（邦貨建）		119	8,000		573	37,500

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 口数・金額の単位未満は切り捨て。ただし、口数が単位未満の場合は小数で記載。

◎ 主要な売買銘柄（2014年6月21日から2014年12月22日まで）

投資証券

銘柄名		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	邦貨建 アバディーン・グローバル・ ブラジル・ボンド・ファンド	口	千円	口	千円
		119,933	8,000	573,735	37,500

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 口数・金額の単位未満は切り捨て。

◎ 利害関係人との取引状況等（2014年6月21日から2014年12月22日まで）

(1) 期中の利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
投資証券	百万円 8	百万円 8	% 100.0	百万円 37	百万円 37	% 100.0

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る上記利害関係人とは、アバディーン・グローバル・サービス・エス・エイです。

(2) 期中の利害関係人の発行する有価証券等

種 類	買 付 額	売 付 額	作 成 期 末 保 有 額
	百万円	百万円	百万円
投 資 証 券	8	37	103

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る上記利害関係人とは、アバディーン・グローバル・サービス・エス・エイです。

(3) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	第 13 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額 (A)	一千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額 (B)	一千円
(B) / (A)	-%

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る上記利害関係人とは、アバディーン・グローバル・サービス・エス・エイです。

◎組入資産の明細

投資証券

(2014年12月22日現在)

銘 柄	第12期末	第 13 期		末	
	口 数	口 数	評 価 額	比 率	
アバディーン・グローバル・ブラジル・ボンド・ファンド (邦貨建)	口 2,022,218	口 1,568,416	千円 101,916	% 97.1	
アバディーン・リクイディティ・ファンド (ルクス) 米ドル	10	10	外貨建金額 千米ドル 11	邦貨換算金額 千円 1,357	1.3

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

◎投資信託財産の構成

(2014年12月22日現在)

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
投 資 証 券	千円 103,274	% 95.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	4,841	4.5
投 資 信 託 財 産 総 額	108,115	100.0

(注1) 金額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建て純資産 (1,357千円) の投資信託財産総額 (108,115千円) に対する比率は1.3%です。

(注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2014年12月22日における邦貨換算レートは1米ドル=119.50円です。

◎資産、負債、元本および基準価額の状況

(2014年12月22日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	108,115,022円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	4,840,663
投 資 証 券(評価額)	103,274,358
未 収 利 息	1
(B) 負 債	3,161,668
未 払 収 益 分 配 金	2,412,128
未 払 信 託 報 酬	684,740
そ の 他 未 払 費 用	64,800
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	104,953,354
元 本	120,606,442
次 期 繰 越 損 益 金	△ 15,653,088
(D) 受 益 権 総 口 数	120,606,442口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額(C/D)	8,702円

<注記事項> (当運用報告書作成時点では監査未了です。)

(注1)

期首元本額	157,149,304円
期中追加設定元本額	4,899,099円
期中一部解約元本額	41,441,961円
1口当たりの純資産額	0.8702円
(1万口当たりの純資産額)	8,702円

(注2) 当期末における未払信託報酬(消費税等相当額を含む)の簡便法による内訳は、「1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細」をご覧ください。

(注3) 当期末で、純資産総額が元本を下回っており、その差額は15,653,088円です。

◎損益の状況

当期(2014年6月21日から2014年12月22日まで)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	4,287,616円
受 取 配 当 金	4,287,573
受 取 利 息	166
支 払 利 息	△ 123
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 2,209,760
売 買 損 益	842,467
売 買 損 益	△ 3,052,227
(C) 信 託 報 酬 等	△ 749,540
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	1,328,316
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 3,493,692
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△11,075,584
(配 当 等 相 当 額)	(5,728,351)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△16,803,935)
(G) 計 (D+E+F)	△13,240,960
(H) 収 益 分 配 金	△ 2,412,128
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	△15,653,088
追 加 信 託 差 損 益 金	△11,075,584
(配 当 等 相 当 額)	(5,728,351)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△16,803,935)
分 配 準 備 積 立 金	5,470,274
繰 越 損 益 金	△10,047,778

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 当期における信託報酬(消費税等相当額を含む)の簡便法による内訳は、「1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細」をご覧ください。

(注5) 分配金の計算過程
 計算期間末における費用控除後の配当等収益(3,538,076円)、費用控除後に繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(5,728,351円)及び分配準備積立金(4,344,326円)より分配対象収益は13,610,753円(1万口当たり1,128円)であり、うち2,412,128円(1万口当たり200円)を分配金額としております。

◎分配原資の内訳

(単位：円・％、1万口当たり・税引前)

第13期 (2014年6月21日～2014年12月22日)	
当期分配金	200
(対基準価額比率)	2.247%
当期の収益	200
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	928

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益(含、評価益)」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

* 当期の分配金のお知らせ *

◎ 1万口 $\left[\frac{\text{元本}}{1\text{万円}} \right]$ 当たり分配金	200円
--	------

◇分配金をお支払いする場合

分配金は決算日から起算して5営業日までに支払いを開始しております。

◇分配金を再投資する場合

お手持り分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

(ご参考)

◇収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」(受益者毎の元本の一部払戻しに相当する部分)の区分があります。受益者が収益分配金を受取る際、当該収益分配金落ち後の基準価額に対して、以下のとおりとなります。

・当該受益者の個別元本と同額または上回っている場合には、収益分配金の全額が普通分配金となります。

・当該受益者の個別元本を下回っている場合には、下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)、収益分配金から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が普通分配金となります。

◇元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

◇普通分配金については配当所得として、20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%)の税率による源泉徴収が行われ、申告不要制度が適用されます。または、確定申告を行い、申告分離課税ないし総合課税を選択することもできます。

◇法人の場合は税率が異なります。

◇税法が改正された場合等には、税率等が変更になることがあります。

◇課税上の取扱いの詳細につきましては、税務の専門家等にご確認されることをお勧めします。

◇復興特別所得税についてのお知らせ

2014年1月1日から2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%(所得税および復興特別所得税15.315%、並びに地方税5%(法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。))の税率が適用されます。

なお、復興特別所得税に係る記載がされた目論見書の再交付をご希望される受益者の方につきましては、お申し出頂ければ再度、送付させて頂きますので、その旨を販売会社までお申し出ください。

◇「運用報告書2段階化」についてのお知らせ

「投資信託及び投資法人に関する法律」の改正に伴い、2014年12月1日付で投資信託約款に所要の変更を行い、以降は運用報告書に記載すべき事項のうち、重要な事項を記載した「交付運用報告書」を毎計算期末に作成しお届けします。

また、2014年12月1日以降作成分の「運用報告書(全体版)」は委託会社のホームページでご覧いただいておりますが、書面での交付をご希望の場合には、販売会社を通じて交付いたします。

参考情報

「ブラジル国債リアル債・ファンド（年2回決算型）」が投資対象とする外国投資証券およびその概要

ファンド名	アバディーン・グローバル・ブラジル・ボンド・ファンド
形態	ルクセンブルグ籍／円建て 外国投資証券
投資の目的	ブラジルの債券等に投資し、利金収入と値上がり益から中長期的に信託財産の成長を目指します。
投資対象	ブラジルの債券等に投資します。
運用の基本方針	中長期的に信託財産の成長を目的として運用を行います。 ブラジルの国債を主要投資対象として、アクティブ運用を行います。 先物取引等を、金利リスクの調整・回避などのために利用します。
設定日	平成24年6月15日
決算日	毎年9月末
分配金確定日	毎年1月、4月、7月、10月の1日
分配方針	毎年1月、4月、7月、10月の1日（分配金計算日）から2ヶ月以内（2月、5月、8月、11月の最終営業日迄）に分配を行います。ただし、マーケットの状況等によっては分配を行わない場合もあります。
運用報酬等	運用資産総額に対し、年率0.50%が運用報酬等としてかかります。 *運用報酬等は将来的に変更になる場合があります。
その他費用	<ul style="list-style-type: none"> ・有価証券・デリバティブ等の取引の手数料 ・外国証券を外国で保管する場合の費用 ・信託事務の処理に要する諸費用 ・一部解約に伴い立替を受ける場合や借入を行う場合の利息 ・監査費用および弁護士費用等
申込手数料	ありません。
管理会社	アバディーン・グローバル・サービスズ・エス・エイ
投資顧問会社	アバディーン・インターナショナル・ファンド・マネジャーズ・リミテッド
副投資顧問会社	アバディーン・アセット・マネジャーズ・リミテッド（英国）
管代 理 事 会 社	登録・名義書換事務代行会社： アバディーン・グローバル・サービスズ・エス・エイ 管理事務代行会社： BNPパリバ・セキュリティーズ・サービスズ（ルクセンブルグ支店） （登録・名義書換事務代行を除きます。）
保管銀行	BNPパリバ・セキュリティーズ・サービスズ（ルクセンブルグ支店）

*当該ファンドは、ファンド・オブ・ファンズにのみ取得されることを目的とします。

ファンド名	アバディーン・リクイディティ・ファンド (ルクス) 米ドル
形態	ルクセンブルグ籍/米ドル建て 外国投資証券
主な投資対象	国外の公社債およびCP、CDを含む短期金融資産等
運用の基本方針	主として国外の公社債および短期金融資産等に投資することにより安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を図ることを目標として運用を行います。
設定日	昭和59年9月17日
決算日	原則毎年3月31日
分配方針	分配は行いません。
管理費用	原則として、ありません。
その他費用	事務管理費用、保管費用等
申込手数料	原則として、ありません。
管理会社	アバディーン・グローバル・サービス・エス・エイ
投資顧問会社	アバディーン・インターナショナル・ファンド・マネジャーズ・リミテッド
管理事務代行会社	登録・名義書換事務代行会社： アバディーン・グローバル・サービス・エス・エイ 管理事務代行会社： ステート・ストリート・バンク・ルクセンブルグ・エス・エイ (登録・名義書換事務代行を除きます。)
保管銀行	ステート・ストリート・バンク・ルクセンブルグ・エス・エイ

(参考情報)

1. 「ブラジル国債レアル債・ファンド(年2回決算型)」が投資対象とするアバディーン・グローバル・ブラジル・ボンド・ファンドの状況

◎設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分 配 落)	分 配 金	騰 落 率
	円	円	%
(設 定 日) 2007年12月14日	100,000	—	—
2008年9月30日	85,567	7,670	△ 6.8
2009年9月30日	76,644	7,797	△ 1.3
2010年9月30日	72,669	8,793	6.3
2011年9月30日	60,120	9,347	△ 4.4
2012年9月30日	57,230	3,203	0.5
2013年9月30日	63,677	5,369	20.6
2014年9月30日	65,055	5,458	10.7
2014年12月22日現在	65,293	1,366	2.5

(注1) 基準価額は1口当たりで分配落。

(注2) 騰落率は分配金込み。

(注3) 騰落率は小数第2位以下四捨五入。

(注4) 「CSボンド・ファンド(ルクス) ブラジル」は、2012年6月15日に「アバディーン・グローバル・ブラジル・ボンド・ファンド」と合併しました。

◎最近1年間の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額 (分 配 落)	分 配 金	騰 落 率
	円	円	%
2013年12月末	64,036	—	—
2014年1月末	58,918	1,344	△ 5.9
2月末	62,332	—	△ 0.6
3月末	65,423	—	4.3
4月末	64,949	1,373	5.7
5月末	65,415	—	6.4
6月末	66,889	—	8.7
7月末	65,273	1,404	8.4
8月末	67,366	—	11.6
9月末	65,055	—	8.0
10月末	65,335	1,366	10.6
11月末	66,449	—	12.3
(現 在 日) 2014年12月22日	65,293	—	10.5

(注1) 基準価額は1口当たりで分配落。

(注2) 騰落率は2013年12月末(分配落)比で分配金込み。

(注3) 騰落率は小数第2位以下四捨五入。

1) アバディーン・グローバル・ブラジル・ボンド・ファンドの損益の状況

ブラジル国債レアル債・ファンド（年2回決算型）はアバディーン・グローバル・ブラジル・ボンド・ファンドの投資証券に投資していますが、以下の内容は、アバディーン・グローバル・ブラジル・ボンド・ファンドの全てのクラスの投資証券の内容を合算しています。

(1) 前期末（2013年9月30日）純資産額	75,527千米ドル
(2) 損益計算書（2013年10月1日から2014年3月31日まで）	（単位：千米ドル）
収益	
受取利息	3,400
収益合計	3,400
費用	
投資顧問料	279
保管費用	73
管理費用	28
居住代理、登録、支払、移転代理に係る手数料	14
投資会社手数料	10
税金	7
営業経費	23
銀行利子	1
費用合計	435
投資純損益	2,965
実現および未実現損益	
有価証券、先物為替取引に係る実現損益	△ 2,837
有価証券取引に係る未実現差損益	991
実現および未実現損益合計	△ 1,846
運用による純資産増減額	1,119
(3) 元本増減額	
追加・解約による純資産増減額	△ 8,856
(4) 分配金支払いによる純資産減少額	
純資産減少額	△ 1,784
(5) 2014年3月31日現在 純資産額	66,006

2) 組入資産の明細

<有価証券>

(2014年3月31日現在)

銘	柄	名	評 価 額
(Corporate Bonds)			千米ドル
Cia Energetica de Sao Paulo	9.75%	15.01.2015	2,566
Iguatemi Empresa de Shopping Centers	FRN	01.06.2014	737
(Government Bonds)			
Brazil (Federal Republic of)	0%	01.10.2014	15,812
Brazil (Federal Republic of)	0%	01.01.2016	3,642
Brazil (Federal Republic of)	6%	15.05.2015	19,751
Brazil (Federal Republic of)	10%	01.01.2017	14,954
Brazil (Federal Republic of)	(Index Linked) 6%	15.08.2016	8,408
Brazil (Federal Republic of)	(Index Linked) 6%	15.08.2018	85
	合 計		65,955

<その他資産・負債>

(2014年3月31日現在)

種 類	金 額
	千米ドル
Cash at bank	588
Interest receivable	932
Subscriptions receivable	65
Liabilities	△1,534
(Taxes and expenses payable)	(△ 142)
(Redemptions payable)	(△ 509)
(Other liabilities)	(△ 883)
合 計	51
	千米ドル
総合計	66,006

*本表は、「アバディーン・グローバル・サービス・エス・エイ」から提供を受けた情報をもとに作成しております。

2. ブラジル国債リアル債・ファンド（年2回決算型）が投資対象とするアバディーン・リクイ
ディティ・ファンド（ルクス）米ドルの状況

◎最近1年間の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率
	米ドル	%
2013年12月末	1,134.35721	—
2014年1月末	1,134.53488	0.0
2月末	1,134.68515	0.0
3月末	1,134.83861	0.0
4月末	1,134.97630	0.1
5月末	1,135.12688	0.1
6月末	1,135.26152	0.1
7月末	1,135.40658	0.1
8月末	1,135.54758	0.1
9月末	1,135.68176	0.1
10月末	1,135.82527	0.1
11月末	1,135.95730	0.1
(現在日) 2014年12月22日	1,136.06364	0.2

(注1) 基準価額は1口当たり、騰落率は2013年12月末比。

(注2) 騰落率は小数第2位以下四捨五入。

1) アバディーン・リクイディティ・ファンド（ルクス）米ドルの損益の状況

ブラジル国債リアル債・ファンド（年2回決算型）は、アバディーン・リクイディティ・ファンド（ルクス）米ドルの投資証券に投資していますが、以下の内容は、アバディーン・リクイディティ・ファンド（ルクス）米ドルの全てのクラスの投資証券の内容を合算しています。

(1) 前期末（2013年3月31日）純資産額		2,152,673千米ドル
(2) 損益計算書（2013年4月1日から2014年3月31日まで）		（単位：千米ドル）
収益		
受取利息		6,185
その他収益		3
収益合計		6,188
費用		
委託者報酬		2,843
管理報酬		292
保管費用		58
監査報酬等		428
その他費用		682
費用合計		4,303
投資純利益		1,885
実現および未実現損益		
有価証券等に係る未実現損益	△	723
実現および未実現損益合計	△	723
運用による純資産増減額		1,162
(3) 元本増減額		
追加・解約による純資産増減額	△	227,805
(4) 2014年3月31日現在 純資産額		1,926,030

2) <組入資産の明細>

(2014年3月31日現在)

銘 柄 名	償還日/満期日	額 面 金 額	評 価 額
<Bonds>			千米ドル
Bank of Montreal (EMTN)	29/04/2014	4,650,000	4,655
BNP Paribas (MTN)	20/12/2014	10,000,000	10,189
Caisse des Depots et Consignations (EMTN)	25/11/2014	10,000,000	10,012
Commonwealth Bank of Australia	17/09/2014	1,057,000	1,058
Credit Agricole Home Loan SFH	21/07/2014	28,200,000	28,259
DBS Bank (EMTN)	05/04/2014	13,000,000	13,000
Eurofima	27/03/2015	3,500,000	3,509
FMS Wertmanagement (EMTN)	01/04/2014	4,000,000	4,000
GlaxoSmithKline Capital	15/04/2014	272,000	272
ING Bank	09/06/2014	4,150,000	4,161
Kommunalbanken	26/01/2015	3,950,000	3,950
Kommunalbanken	26/01/2015	1,200,000	1,200
Landeskreditbank Baden-Wuerttemberg Foerderbank (EMTN)	02/05/2014	16,750,000	16,755
National Australia Bank	22/01/2015	10,000,000	10,020
National Australia Bank	11/04/2014	5,000,000	5,001
Nederlandse Financierings Maatschappij voor Ontwikkelingslanden (EMTN)	02/03/2015	5,000,000	5,042
Nederlandse Waterschapsbank (EMTN)	27/05/2014	34,000,000	34,020
Nederlandse Waterschapsbank	27/10/2014	16,000,000	16,003
Nederlandse Waterschapsbank	06/11/2014	5,000,000	5,004
Nederlandse Waterschapsbank	27/10/2014	3,725,000	3,726
Nordea Bank	13/11/2014	1,250,000	1,276
Rabobank Nederland	13/05/2014	5,000,000	5,023
Royal Bank of Canada (MTN)	06/01/2015	3,500,000	3,505
SSIF Nevada	14/04/2014	20,000,000	20,005
Statoil	15/04/2014	10,743,000	10,758
Sumitomo Mitsui Banking	22/07/2014	15,500,000	15,542
Svenska Handelsbanken	10/06/2014	3,550,000	3,581
WestphaliaLand Nordrhein-Westfalen (EMTN)	03/09/2014	35,400,000	35,467
合 計			274,993
<Money Market Instruments>			千米ドル
ABN Amro Bank	07/04/2014	20,000,000	19,998
ABN Amro Bank	30/07/2014	9,000,000	8,991
Agence Centrale Organismes de Securite Sociale	07/04/2014	25,000,000	24,999
AMP Bank	30/06/2014	10,000,000	9,995
Bank of Tokyo Mitsubishi	27/05/2014	15,000,000	14,994
Banque Federative du Credit Mutuel	21/05/2014	40,000,000	39,986
Barclays Bank	06/10/2014	18,000,000	17,943
BMW Finance	14/04/2014	25,000,000	24,999
BMW Finance	30/06/2014	10,000,000	9,994
BNP Paribas	17/06/2014	37,500,000	37,482
BNP Paribas Fortis	28/04/2014	13,000,000	12,998
BPCE	11/08/2014	25,000,000	24,972
Caisse des Depots et Consignation	29/04/2014	30,000,000	29,996
Citibank	19/05/2014	46,500,000	46,500

銘 柄 名	償還日／満期日	額 面 金 額	評 価 額
			千米ドル
Credit Agricole	24/04/2014	30,000,000	29,995
Credit Suisse	03/12/2014	18,000,000	17,936
Credit Suisse	14/07/2014	15,000,000	14,991
DBS Bank	28/07/2014	15,000,000	14,989
Deutsche Bank	05/06/2014	25,000,000	24,990
DZ Privatbank	30/05/2014	50,000,000	49,979
DZ Privatbank	17/06/2014	30,000,000	29,985
Eurofima	25/04/2014	23,000,000	22,998
Fingrid	07/04/2014	10,000,000	10,000
ING Bank	21/05/2014	15,000,000	14,990
Macquarie Bank	26/08/2014	18,000,000	17,976
Mitsubishi UFJ Trust and Banking	16/04/2014	50,000,000	49,995
Mizuho Bank	15/04/2014	25,000,000	24,998
Mizuho Bank Sydney	28/04/2014	20,000,000	19,996
Mizuho Bank Sydney	17/06/2014	33,000,000	32,983
Mizuho Bank Sydney	28/05/2014	10,000,000	9,996
Nationwide Building Society	12/05/2014	17,000,000	16,995
Nordea Bank	09/06/2014	15,000,000	14,994
Nykredit Bank	19/05/2014	20,000,000	19,994
Oversea Chinese Banking	28/04/2014	30,000,000	29,995
Oversea Chinese Banking Sydney	19/05/2014	20,000,000	19,994
Pohjola Bank	23/04/2014	16,000,000	15,998
Pohjola Bank	27/05/2014	15,000,000	14,995
Pohjola Bank	31/07/2014	12,000,000	11,990
Pohjola Bank	13/06/2014	9,500,000	9,495
Pohjola Bank	07/04/2014	8,000,000	8,000
Pohjola Bank	09/04/2014	7,600,000	7,600
Pohjola Bank	30/05/2014	3,000,000	2,999
Schlumberger Finance	25/06/2014	30,000,000	29,986
Skandinaviska Enskilda Banken	27/05/2014	9,000,000	8,996
Societe Generale	06/06/2014	25,000,000	24,990
Societe Generale London	27/05/2014	25,000,000	24,991
Sumitomo Mitsui Banking	30/05/2014	30,000,000	29,988
Sumitomo Mitsui Banking	11/06/2014	30,000,000	29,988
Suncorp-Metway	11/08/2014	30,000,000	29,961
Suncorp-Metway	21/07/2014	4,450,000	4,445
Suncorp-Metway	26/06/2014	1,500,000	1,499
Unilever	21/07/2014	35,000,000	34,973
Unilever	14/05/2014	30,000,000	29,992
Unilever	04/08/2014	15,000,000	14,986
Unilever	05/11/2014	15,000,000	14,970
Wells Fargo Bank International	27/08/2014	40,000,000	40,000
Zurich Finance UK	28/05/2014	20,000,000	19,993
Zurich Finance USA	13/05/2014	20,000,000	19,994
Zurich Finance USA	23/06/2014	10,000,000	9,995
合 計			1,253,440
総 合 計			1,528,433

<為替予約取引>

種 類	(2014年3月31日現在)		
	購 入 額	売 却 額	評 価 損 益
為替予約取引	米ドル	円	千米ドル
	—	—	—
小 計	—	—	—
総 合 計	—	—	千米ドル —

<その他資産・負債>

(2014年3月31日現在)

種 類	金 額
	千米ドル
Cash at banks	298,359
Interest receivable	776
Receivable on reverse repurchase agreements	100,724
Other assets	79
Liabilities	△ 2,341
(Taxes and expenses payable)	(△ 410)
(Other liabilities)	(△ 1,931)
合 計	397,597
総 合 計	千米ドル 1,926,030

*本表は、「アバディーン・グローバル・サービス・エス・エイ」から提供を受けた情報をもとに作成しております。